

# 会 報 《第450号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク  
一般社団法人兵庫県建築会



令和5年6月1日

## 目 次

### I 令和5年度定時総会並びに会員交流会 . . . 2～8頁

(1) 定時総会の概要

(2) 会員交流会の概要

(3) 兵庫県知事、神戸市長からの祝電

(4) 令和5年度役員等一覧表

### II 会員寄稿 . . . 9～10頁

「わがまちの歴史・西宮鳴尾編」

(株)岡工務店 取締役副社長 岡 澄彦 氏

### III お知らせ 行事予定、叙勲等の受章 . . . 10頁

### IV 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度 . . . 11頁



## I 令和5年度 定時総会 開催概要

日 時 令和5年5月11日(水) 17時00分～17時40分  
会 場 神戸三宮東急 REI ホテル

令和5年度定時総会が会員35名の出席により開催されました。

その概要を次のとおり報告します。

### 1 開会 定足数の確認

正会員数	54名(定足数28名)
総会出席者	35名
	議決権を有する者33名
委任状提出者	16名
議決権	51名



(総会風景)

### 2 開会あいさつ 会長 山本 康一郎



本日はお忙しい中、当会定時総会にご出席いただきありがとうございます。

本日の議事等につきまして、皆さまのご協力を得ながら、進めてまいりたいとおもいますので、ご協力の程お願いします。

### 3 議事事項



◎ 定時総会においては、令和5年度事業計画等3件の報告事項について、また令和4年度決算(案)及び令和4年度役員選任(案)の2件の議案事項について、説明を行いました。

令和4年度決算につきましては、山田監事から監査報告を行っていただきました。

そして、3件の報告事項についての了承、2件の議案事項について議決をいただきました。

報告事項1	令和5年度事業計画について
報告事項2	令和5年度収支予算について
報告事項3	令和4年度事業報告について
第1号議案	令和4年度決算(案)について
第2号議案	令和5年度役員を選任(案)について



(監査報告)

## I 令和5年度 会員交流会 開催概要

日 時 令和5年5月11日(水) 18時00分～19時30分

会 場 神戸三宮東急 REI ホテル

### 【会長挨拶】



兵庫県建築会の会長を務めます山本でございます。

本日の会員交流会に、ご来賓として兵庫県からは服部副知事様、神戸市からは建築住宅局小川副局長様を始めご公務多忙の中、県、市より幹部職員様のご臨席賜りました。友好団体からも多数お越しいただき有難うございました。また、会員の皆様も定時総会に引き続きご出席いただき心から感謝申し上げます。

そして、何よりも4年ぶりに日常を取り戻しての会員交流会を開催できることを喜んでおります。このコロナ禍でも皆様方には当会の運営に対し、ご理解とご協力を賜りこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

先程、令和5年度定時総会を開催いたしました。それぞれの議案を賛成多数で承認されましたことをご報告申し上げます。特に、令和4年度事業では、皆様のご協力のお陰を持ちまして当会創立75周年記念講演会を開催することが出来ました。講師として京都大学名誉教授の河田恵昭先生をお招きし、「新しい価値観に基づく防災対策」と題し、大変有意義なご講演をして頂きました。当会の今後の活動に向けた示唆に富んだ内容であり、創立80周年、その先の100周年に続くテーマを頂きました。

さて、私が会長に就任する直前の令和2年3月1日に西宮市で県内初の新型コロナウイルス感染者が確認されました。兵庫県の感染者数は5月7日までの約3年2か月間で148万人を超え、3908人が亡くなるという大災害に匹敵する状況でありました。コロナ禍において当会の事業運営にも大きな影響を及ぼし、当初は事業の中止、延期をせざるをえず月例会の講師の先生方や会

員の皆様に大変なご迷惑をお掛けしました。ウイズコロナに移った頃からはコロナ対策をしながらも事業を再開することが出来ました。

また、我々はこの3年間大きな変化を求められてきました。兵庫県建築会は3年前に戻るのではなく、コミュニケーションを取り戻し、ポストコロナ社会に相応しい事業を行うことで新たな当会の創造につなげたいと考えます。また、建築業界でも少子高齢化に伴いますますます担い手不足は深刻化すると思われま

す。会員企業はICT技術を深化させ、働き方改革を進めておられます。よって、当会ならではの会員交流を活性化させることが、業種間をつなぐ特徴ある団体として継続すると考えています。

一方、明るい話題としては、2025年大阪・関西万博が開催されます。起工式も行われ工事が本格化し、建築に携わる者として「いのち輝く未来社会のデザイン」に期待を寄せております。また、兵庫県内でも万博に来られた方に楽しんでもらえるフィールドパビリオン形式のイベントが企画されており、兵庫全体で推進するための協議会が発足しました。当会もその構成員として活動してまいりますので会員の皆様方とも情報を共有し、大阪・関西万博の成功に寄与していきたいと考えています。

結びといたしましては、今週から新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが「5類」に移行され、感染対策は個人や事業者の判断に委ねられました。しかし、ウイルスの性質は変わらず、専門家は流行を繰り返すと警告しております。引き続き基本的な感染対策を継続しつつ、健康管理に務めることが重要と考えます。そして、その上で会員一同は当会発展のためにも、力を合わせてポストコロナ社会を築く所存であります。

最後に、関係各位の今後益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、本日お集まりの皆様方のご多幸とご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

【来賓挨拶】  
(兵庫県 服部副知事)

令和5年度定時総会並びに会員  
一般社団法人 兵庫県建築会



兵庫県副知事の服部でございます。

本日は、兵庫県建築会の令和5年度の定時総会並びに会員交流会が開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、山本会長をはじめ、会員の皆さまにおかれましては、県政全般にわたり、とりわけ「まちづくり・建築行政」に格別なるご理解、ご協力、そしてご貢献をいただいておりますことを、この場をお借りしまして、改めて厚くお礼申し上げます。

また、出野上副会長におかれましては、県をご退職される直前の3月19日から29日にかけてJICAの調査団の一員として、トルコ地震の調査に急遽ご参加いただきました。急な要請にもかかわらず、貴重なご提言をいただいたことに対し、改めてお礼を申し上げます。

長かったコロナ禍ですが、この5月8日から感染症法上の位置づけが5類に移行されました。これからは各人が感染予防に気を配りつつ、通常の社会経済活動を続けていくという真の意味でのウイズコロナの時代を迎えたと思っております。

そのような中、兵庫県の令和5年度当初予算は、「躍動する兵庫、新時代への挑戦」と銘打ちまして、(1) 新しい時代の力を育む、(2) 人の流れを生み出す、(3) 一人ひとりに寄り添うという3つの視点に重きを置いています。

皆さまに関連した「まちづくり・建築分野」の目玉は教育への投資です。具体には県立学校施設への環境整備、特別支援学校の整備など5カ年で総額300億円の投資を予定しています。

また、兵庫の地に「人・モノ・投資」を呼び込む施策として、市街化調整区域での開発の促進や「ひょうご移住プロジェクト」の一環として、空き家の

活用、古民家再生などにも取り組んでまいります。

さらに、県立公園におけるパークPFIの導入や県営住宅のPFI建て替え事業など、民間活力の導入にも力を入れてまいります。

一方、この5月5日に能登半島で震度6強の地震が発生し、今朝も千葉県南部で5強の地震が発生しました。そして本県でも7日から8日にかけて季節外れの大雨により、伊丹市天神川で県工事箇所が決壊するという残念な事態が生じました。引き続き、地震対策や河川の安全点検、特に天井川での緊急安全点検、盛土新法に基づく事前調査など安全・安心の取組をしっかりと実施してまいりたいと考えております。

どうか皆様の卓越した知識と経験をもとに、躍動する兵庫の実現を目指す齋藤県政を支えていただきますよう、引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びといたしまして、兵庫県建築会の今後ますますのご発展と本日ご参加の皆様のご健勝でのさらなるご活躍を祈念申し上げます。



(会場風景)

(神戸市 小川副局長)



神戸市建築住宅局副局長の小川でございます。

公式な挨拶は久元市長からのメッセージがありましたので、神戸市の働き方改革についてお話をさせていただきます。

思い起こせば、阪神・淡路大震災のとき、私は長田区役所に勤務しておりましたが、その復旧、復興は本当に大変でした。建築業界の皆様方に助けていただいたという思いと同時に、本当に地域社会の安全・安心を最前線で支えているのが建築業界で関わられている皆さんであることを、今の市民、県民の方々がどれだけご理解いただいているのか、私自身の反省も踏まえ思っております。

とりわけ、私は今、神戸市で公共事業を担当する部署にありますが、公共事業を施行する立場から特に地域社会を支える建築業界の皆様方の企業経営が持続可能な状態になるよう何か貢献できないかということも最近強く思っています。それでなければ、地域の安全・安心が確立できないということにも繋がりがねないのですが、なかでも私が今一番皆さんとともに危惧しているのが、人材確保の問題です。

最近、神戸市内で建設業の経営者や幹部の方とお話をしたとき、人材募集をしてもなかなか建築学科系の大学や高校を出た方が、応募に来てくれないとか、実務経験を持つ方を採用できないとかいったことを非常にお悩みになっておられ、また一方で、そのような方々だけに頼れないので、未経験の方でやる気のある方を採用して、自社で育成をしているというお話もお聞きしました。逆に、光明といたしましては、やる気のある方を未経験でも採用することで、実は定着率が高いというお話もありました。

お話を伺うにつれ、これからの人材確保というものが非常に難しく、獲得競争になっていること、併せて

建築業界を担う裾野を広げていかないといけないとも思っています。

皆様方もいろいろ対策を考えておられる2024年問題があります。労働基準法の超過勤務時間の上限制限が来年春からこの建設業界にも適用されることとなります。私ども神戸市でまず取り組まないといけないと思っていますのは、現場の労働環境の改善です。今年度神戸市で発注する建築あるいは設備工事のうち、できれば8割強を週休2日制の工期設定をして、その経費を乗せて皆様方に受注いただけるような環境を整備したいと今調整をしています。

8割といっても、原則は全ての工事で対応せざるえないわけですから、まだまだ目標は低いとお叱りを受けるかもしれません。法の施行に先駆けて、行政が環境を皆様方に提供することで、民間事業のほうにも一緒に推進していければと思っております。

これだけで新しい人材確保ができるわけではありませんが、この新しい2024年問題への解決に向けて皆様方と知恵を絞っていきたいと思います。また、例えば人材の確保についてもっと若い方々、あるいは女性にこのものづくりの魅力なり、役割をしっかりとアピールしていくといったことも皆様方のお知恵を借りながら一緒に連携できないかなと思っておりますので、今後ともぜひご協力をお願いしたいと思います。

最後に、この会の会員の皆様方のますますのご健勝とこの会の発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は、おめでとうございます。



(会場風景)

### 【乾杯（大木副会長）】

本日は兵庫県建築会の令和5年度定時総会並びに会員交流会にご出席いただき、ありがとうございます。  
コロナ禍の中で久しぶりに、会員の皆様とこのような交流会が開催でき、本当にうれしく思っております。

それでは、当会の発展とご参集の皆さまのご健勝ご活躍を祈念しまして、乾杯。



### 【新規加入会員の紹介】



（株）日本ネットワークサービスの松井です。

我が社は、平成3年からスタートしまして、何とか34期目を迎えることができました。

私は個人的に管理畑で、管理一筋42年ばかりやっております。

そんなこともございまして、仕事の延長上ではありますが、兵庫県、神戸市のほうから高齢者見守り事業と、あと認知症サポーターとかいうような事業をやっております。また、兵庫県の警察本部のほうからは、青色防犯パトロールというようなことも仕事の延長線上で、やらせていただいております。

私自身、神戸で育ち、神戸大好き人間でございます。

す。そのため、会社を挙げていろいろな事業に取り組んでいる会社でございます。

5月1日から皆さん方のお仲間にならせていただきましたことをまずもって御礼申し上げます。

今後ともよろしく願いいたします。

### 【中締（出野上副会長）】

本日は皆さん、お忙しい中定時総会、そしてそのあとの交流会に出席、参加いただきまして、ありがとうございました。そして、多くの来賓の皆様をお迎えすることができ、会を華やかに開催することができました。来賓の皆様、ありがとうございました。ということで、中締めということですので、一丁締めで締めますと思います。よろしく申し上げます。

それでは、兵庫県建築会の今後ますますの発展と本日お集りの皆様方のご健勝でのご活躍を祈念いたしまして、中締めとさせていただきます。



（会場風景）

祝

電

兵庫県知事 齋藤元彦様、神戸市長 久元喜造様からご祝電をいただきました。

一般社団法人兵庫県建築会 令和五年度定時総会の開催  
をお慶び申し上げます

建築各界を結び まちづくり分野で常に先導的な役割を  
果たしてこられた皆様に深く敬意を表します

本年二月 トルコ南部で大地震が発生いたしました大災  
害はいつ発生するかわかりません 阪神・淡路大震災を経  
験した我々はその経験と教訓を活かし、創造的復興の理念  
を次の世代へ継承していく必要があります。

誰もが安全に 安心して暮らせる社会の構築に向け今後  
もより一層連携を深めてまいりましょう



兵庫県知事

齋藤元彦

一般社団法人兵庫県建築会 令和五年度定時総会のご開  
催をお慶び申し上げます。

平素は神戸市政に対しまして ご理解 ご協力を賜り  
誠にありがとうございます。

また新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにご協力  
を賜り厚くお礼申し上げます。

これまでの貴会の取り組みに深く敬意を表しますとと  
もに今後ますますのご発展と会員皆様のご健勝 ご多幸  
を心よりお祈り申し上げます



神戸市長

久元喜造

令和5年度定時総会におきまして新役員体制が承認されました。  
つきましては、この新しい陣容をもちまして、会の進展に最善の努力をしてまいる所存です。  
なにとぞ倍旧のご支援ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月吉日

一般社団法人 兵庫県建築会 会長 山本 康一郎

令和5年度役員等一覧表  
(事業推進委員会は会長以下の役員をもって構成する)

敬称略

区分	令和5年度役員	
名誉顧問	竹村 章	元会長
	瀬戸本 淳	前会長
顧問	新 柴田 和弘	兵庫県まちづくり部長
	根岸 芳之	神戸市建築住宅局 局長
	新 衣笠 達也	(公財) 兵庫県住宅建築総合センター
	松田 隆	(一社) 兵庫県建設業協会 会長
	宮宅 勇二	(公社) 兵庫県建築士会 会長
	柏本 保	(一社) 兵庫県建築士事務所協会 会長
	西上 三鶴	(公財) 兵庫県芸術文化協会 理事長
	棚田 肇	元副会長
	石田 邦夫	元副会長
会長	山本康一郎	(株) 山本設計 代表取締役社長
副会長	大木 弘恵	(株) 大木工務店 代表取締役会長
	新 西谷 一盛	兵庫県住宅供給公社 理事長
	出野上 聡	TC神鋼不動産(株) 専任顧問
専務理事	吉本 義幸	(一社) 兵庫県建築会 専務理事
理事	岡 澄彦	(株) 岡工務店 取締役副社長
	松本 章	(株) 明和工務店 代表取締役社長
	北浪 孝一	丸正建設(株) 代表取締役社長
	矢間 照人	(株) 新井組 執行役員 管理本部長
	河野 潤也	兵庫新装サッシ(株) 顧問
	湖亀 一登	(株) 黒田建築設計事務所 代表取締役
	宮崎 健一	宮崎建設(株) 代表取締役社長
監事	山田 聖一	(一社) 兵庫県建設業協会 専務理事
	立花 充	(株) ノバック 代表取締役社長
幹事	木下 勝功	(一社) 兵庫県産業資源循環協会 専務理事
	瀬尾 武夫	(株) 宮本設計 代表取締役所長
	前川真一郎	前川建設(株) 専務取締役
	池内 修	池内工務店 代表取締役
	谷口 正樹	(株) 家根源 代表取締役
	吉川 壽一	(株) 吉川組 代表取締役社長
	坂井 豊	(株) 柄谷工務店 常任顧問
	長坂 浩	(株) オフィスナウ 代表取締役
	杉田 健一	(株) 森長組常務取締役関西支店長
	安田 宏	双和化学産業(株) 代表取締役



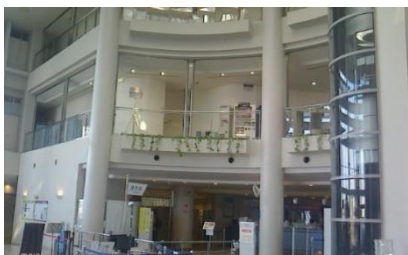
## II 会員寄稿

「わがまちの歴史・西宮鳴尾編」

(株)岡工務店 取締役副社長 岡 澄彦 氏

皆さんは、西宮市と阪神電鉄の運営する3セク（鳴尾浜ウオーターワールドといます）のリゾート施設で「リゾート鳴尾浜」をご存知ですか。

28年間市民に親しまれてきた施設（自らも長年お世話になりました）ですが、大した陳腐化もしていないのにコロナ禍で閉館となったことが悔やまれています。



(在りし日のリゾート鳴尾浜)

鳴尾浜海浜公園内に位置し、温浴施設（天然温泉）と年中楽しめるプールとフィットネスがあるという、ゆるい健康ランドとして貴重な存在でした。

イメージでいうと川向うにある尼崎スポーツの森をもう少しファミリームードある風情にした施設ですが、成り立ち的に初代（甲子園浜時代）の阪神パークのコンセプトを90年代に継承したかったのかもしれませんが。

コロナ禍で3か月休業を余儀なくされ、2020年10月下旬に突然の閉館の知らせを受け、「なくなって知る有難み」とばかりに、海浜公園のコスモス園が見ごろと相まって、11月は最後を満喫しました。最後の週末は、いつものアクティブシニア層に加えて「こんなにお客さんがいたのか」というぐらいファミリー層も最後を惜しんでいました。もう一つの私のよりどころは、そこに常設展示されている珍獣レオポンのはく製でした。

「東洋一」とまでいわれた阪神パーク（2代目・現在のららぽーと甲子園）の動物園では1959年に2頭、1961年に3頭、豹（父）とライオン（母）の雑種を計5頭、繁殖に成功しました。それがレオポンです。日本でのレオポン繁殖事例は唯一この動物園だけです。

5頭の内最長寿で24歳、早逝でも14歳。5頭平均18歳と、この種の雑種にすれば長生きといえるでしょう。5頭を生んだ両親よりも子の方が長生きという親孝行な事例です。



(幼少期のチェリーとジョニー)

その末っ子のジョニー（1961～1985年。24歳は人間に年齢換算すると112歳の大往生。）のはく製が阪神パークに通っていた頃の私の懐かしい郷愁をよびます唯一の象徴なのですが、移転保存はどこになるのやら。2023年2月現在も一般には知らされてはいません。5頭の内、唯一の西宮市管理（もともとは阪神電鉄の所有）ですから西宮市役所を安住の地にしてほしいと思うのですが。

あらためて3セク施設の運営の難しさを思った次第です。同社は解散して2021年3月に清算しました。

コロナ禍で暮らしに身近なものが相次いでなくなりましたが、阪神武庫川線の顔であった阪神の赤胴車（あかどうしゃと読みます。意味は車体色が示す通りで優等列車カラーの愛称。赤胴鈴之助に由来。）が人知れずひっそり姿を消したのも、2020年6月。まさに世はコロナ禍で大騒ぎ。引退日を告知すれば、撮り鉄でなくても往年のファンから地域住民までがフィナーレを見に来て、密になることを忌避しての措置でしょう。その赤胴車（晩年における）ゆかりの地は、阪神武庫川線の武庫川団地駅です。以前、こちらの会報でも武庫川線の3線軌条として寄稿しましたが、わずか1.7kmの営業キロを終点駅を含めて4駅という武庫川団地住民の足であることはご存知の通り。少し距離はありますが、先述のリゾート鳴尾浜の最寄り駅でもあります。

2021年3月、赤胴車のうちの1両(7890)が、阪神尼崎車庫から未明の国道43号を武庫川団地の

広場にトレーラーで搬送され、同年7月から大屋根の下で地域のコミュニティスペースとしてオープンしました。晩年は常に2両編成での運用だったため相棒の7990は解体処分、7890はUR都市機構に譲渡されての静態保存ということで運命を分ける形となりました。



(赤胴車広場オープン日のひとコマ)

武庫川団地住民にすれば、親しみある赤胴車が公民館に生まれ変わって帰ってきたというところですか。もっといえば7890の出自は武庫川車両工業(株)。即ち本当の生まれ故郷は阪神尼崎車庫になるのですが、本線の優等列車(本来の使命)としてよりも改番されてのんびり晩年を過ごした武庫川団地の方を選んだのかもしれない。因みに改番前は、3801という名で急行運用のエースでした。

以前の寄稿で武庫川線の生い立ちにふれたので省略しますが、武庫川線本来の使命は川西航空機鳴尾工場(現在の新明和)への貨物・旅客輸送でした。

リゾ鳴尾浜も赤胴車のように生まれ変わる機会があるのなら、鳴尾の地域にゆかりのある企業に運営してもらえたらと思いますね。

因みに赤胴車広場の場所は、もとは鳴尾競馬場でした。それがゴルフ場に一時期転身し、さらに飛行機工場に。平和な世の中になってからは団地に生まれ変わるという数奇な運命をたどっています。時代に翻弄されたような場所ではあるけれど、7890にすれば安住の地を得たといえるでしょう。

### Ⅲ お 知 ら せ

#### ◎行事予定

##### 1 研修交流会

日時：令和5年6月8日(木)

場所：城山ゴルフ倶楽部

##### 2 月例会

日時：令和5年7月6日(木)

13:00~14:00

場所：神戸三宮東急REIホテル

内容：「人を育てる体験活動」

講師：清水勳夫氏

(一財)野外活動協会理事長

##### 3 事業推進委員会

日時：令和4年8月10日(木)

17:00~19:00

場所：神戸 老房

内容：・令和5年度事業進捗状況について

・その他

#### ◎叙勲等の受章

この度、次のとおり会員の方々が長年のご功績が認められ、旭日双光章、黄綬褒章を受賞されました。

おめでとうございます。

(旭日双光章)

(株)森長組 元代表取締役社長

森 長義 氏

(黄綬褒章)

(株)ノバック 取締役社長

立花 充 氏



安心をカタチに  
**兵庫県住宅再建 共済制度**  
**フェニックス共済**



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した  
 住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に

県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に

住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額 <b>5,000円</b> で 再建、補修時等に 最大 <b>600万円</b> 給付! ※半壊(損害割合 20%)以上	<b>プラス</b> 年額 <b>500円</b> で 補修時等に <b>25万円</b> 給付! ※損害割合10%以上20%未満	単独加入 年額 <b>1,500円</b> で 住宅とセット加入の場合 年額 <b>1,000円</b> で 購入・修復時に 最大 <b>50万円</b> 給付! ※床上浸水・半壊以上

※ 住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)  
 FAX: 078-362-4082

E-mail [jutakukyosaikin@pref.hyogo.lg.jp](mailto:jutakukyosaikin@pref.hyogo.lg.jp)

フェニックス共済 検索 ★加入申込書はダウンロードできます★



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!